

## 開会の辞

橋本 弘道

本日は、鶴見大学仏教文化研究所の公開シンポジウムにご参加いただきましてありがとうございます。鶴見大学仏教文化研究所の副所長をしております橋本弘道と申します。本日は「総持寺祖院史料の有効性とその可能性をめぐって」という題名で公開シンポジウムを進めさせていただければと存じます。大本山総持寺祖院には数多くの史料が整備・保存されております。その内容は、祖院の歴史史料のみならず、各種の曹洞宗寺院史料、能登の地域史、さらに関連地域の歴史史料など多岐にわたっております。本シンポジウムでは総持寺祖院史料の有効性を改めて確認するとともに、新たな活用の可能性について指摘していこうという趣旨で進行していきたいと考えております。今回は本会場での対面による受講と合わせて、Zoom Webinarを使ったネット配信にも取り組んでおります。初めての取り組みですので色々行き届かないところもあるかと存じますが、実りある公開シンポジウムに出来ればと考えております。ご協力をよろしく願いたします。また毎年この時期にシンポジウムを開催しておりますので、今後もご参加いただければと存じます。よろしく願いたします。以上をもちまして、簡単ではございますが開会の挨拶とさせていただきます。

(はしもと ひろみち・鶴見大学仏教文化研究所副所長)